

## 平成22年6月期 第1四半期決算短信

平成21年11月6日

上場会社名 株式会社ビューティ花壇

上場取引所 東

コード番号 3041 URL <http://www.beauty-kadan.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三島美佐夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 須浪 薫

四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日

TEL 03-5776-5850

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年6月期第1四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第1四半期	902	2.3	△26	—	△22	—	△34	—
21年6月期第1四半期	882	—	△22	—	△21	—	△31	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第1四半期	△1,403.11	—
21年6月期第1四半期	△1,266.98	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第1四半期	1,185	444	35.0	16,810.21
21年6月期	1,315	483	34.7	18,564.23

(参考) 自己資本 22年6月期第1四半期 414百万円 21年6月期 456百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	0.00	—	345.00	345.00
22年6月期	—	—	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	0.00	—	1,189.00	1,189.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	2,214	19.7	59	—	66	—	31	—	1,295.20
通期	4,500	20.8	180	190.6	200	205.6	97	—	3,964.35

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無  
新規 —社（社名） 除外 —社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無  
（注）詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年6月期第1四半期	24,654株	21年6月期	24,600株
② 期末自己株式数	22年6月期第1四半期	—株	21年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期連結累計期間）	22年6月期第1四半期	24,635株	21年6月期第1四半期	24,545株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記数値と異なる場合があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、一部株価回復の兆しも見受けられるものの、世界的な金融危機が実体経済に及ぼした影響は大きく、企業の業績は悪化し、設備投資の抑制や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷など、国内経済は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、生花卸売事業が前年同期比に対して増加となる一方、売上高の77.9%を占める主力の生花祭壇事業が軟調な推移となった結果、902,511千円（前年同期比2.3%増）となりました。売上総利益については、182,400千円（前年同期比0.2%増）となりました。

販売費及び一般管理費については、広告宣伝費を抑えたものの、人件費や顧問料の増加等があり、208,804千円（前年同期比2.1%増）となりました。

その結果、営業損失は26,404千円（前年同期は22,529千円の損失）となりました。また、経常損失は受取地代家賃等により22,836千円（前年同期は21,333千円の損失）となり、四半期純損失は法人税等調整額や少数株主利益により34,566千円（前年同期は31,098千円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### （生花祭壇事業）

生花祭壇事業の売上高は、703,386千円（前年同期比2.5%減）となりました。

台湾にある連結子会社・美麗花壇の生花祭壇事業は、台湾式の生花祭壇と比較して単価の高い日本式の生花祭壇施行件数が前年同期は112件であったのに対して、当期は553件と大幅に増え、日本式の生花祭壇は全祭壇の施行件数の60.8%を占め、売上高では82.4%を占めるに至りました。また、受注件数も前年同期の475件から20.0%増加し、570件となっております。しかしながら、為替変動の影響により売上高は減少となりました。

国内においては、厚生労働省の人口動態統計速報（平成21年8月分）によると、死亡人口は引き続き増加傾向にあります。平成21年7～8月の累計において176,929人と前年同期比で0.3%減少しました。これは、平成20年7月が前年同月比3.5%増と増加率が高かったためであります。

また、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、葬儀業の平成21年7～8月の取扱件数は前年同期比0.8%減の50,594件、売上高は1.7%減の76,763百万円となっております。これは、葬式を行わず火葬のみを行う直葬が広まりつつあるからであると推察されます。

このような状況のもと、当事業の国内売上高は、666,414千円（前年同期比2.3%減）となりました。施行件数においては前年同期が3,709件に対し200件増加し、3,909件となりました。生花祭壇事業は、収益の向上を目指して社葬・大型葬の獲得に取り組んでおり、従来の営業拠点に限定することなく全国で受注・営業活動を行っておりますが、当第1四半期においては24件と、前年同期の40件に比べ、減少となりました。

これらの理由により、営業利益は85,797千円（前年同期比22.3%減）となりました。

#### （生花卸売事業）

生花卸売事業の売上高は、161,234千円（前年同期比19.4%増）となりました。東京中央卸売市場「市場統計情報」（平成21年9月）によると、切り花の単価は前年同月比で7月は1.8%増、8月は1.9%増、9月は5.5%増とプラスで推移しました。一方で、当社の輸入比率（本数ベース）は、前年同期の18.2%に比べ10.4ポイント上昇し、当期は28.6%となり、輸入比率を高めることで原価上昇を抑制しました。また、輸入に係る荷造運賃、調達人員の安定化により、営業利益は19,898千円（前年同期は1,043千円の利益）となりました。

#### （その他事業）

その他事業は、ブライダル事業及びプランツスケープ事業からなり、売上高は37,890千円（前年同期比46.1%増）となりました。営業損失は9,157千円（前年同期は11,759千円の損失）となっております。連結子会社の株式会社クラウンガーデネックスにおいては、東京でのブライダル装花により、売上高、売上総利益共に増加、販売費及び一般管理費も増加となりました。

また、オフィス・商業施設の植栽による空間演出を行うプランツスケープ事業は、植栽工事の大型受注により売上高が増加しました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ130,083千円減少し、1,185,573千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ112,594千円減少し、598,735千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少等によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ17,488千円減少し、586,838千円となり

ました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ90,604千円減少し、741,441千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ49,496千円減少し、593,207千円となりました。これは主に、短期借入金の減少等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ41,108千円減少し、148,233千円となりました。これは、社債及び長期借入金の減少等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ39,478千円減少し、444,132千円となりました。これは主に、剰余金の配当による利益剰余金の減少等によるものであります。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ147,290千円減少し、81,493千円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### ①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において営業活動の結果使用した資金は645千円（前第1四半期会計期間に比べ12,616千円減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失38,747千円を計上した一方で、非資金費用である減価償却費13,972千円の計上と賞与引当金の増加24,466千円によるものであります。

#### ②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において投資活動の結果使用した資金は8,733千円（前第1四半期会計期間に比べ6,252千円増加）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出7,247千円によるものであります。

#### ③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間において財務活動の結果使用した資金は138,289千円（前第1四半期会計期間に比べ57,569千円増加）となりました。これは主に、短期借入金の純減57,758千円、長期借入金の返済による支出18,920千円や社債の償還による支出50,000千円によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月11日に開示しました平成22年6月期の業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間において進捗が遅れているものの、堅調に推移していることから当社グループ全体ではほぼ計画通りに推移しておりますので、変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

前第1四半期連結会計期間において、投資その他の資産の「その他」に含めて表示しておりました「差入保証金」は、資産総額の100分の10を超えたため、当第1四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第1四半期連結会計期間の投資その他の資産の「その他」に含まれる「差入保証金」は64,243千円であります。

前第1四半期連結会計期間において、営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「不動産賃貸費用」は、営業外費用総額の100分の20を超えたため、当第1四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第1四半期連結会計期間の営業外費用の「その他」に含まれる「不動産賃貸費用」は422千円であります。

前第1四半期連結会計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「賃貸不動産費用」は重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。なお、前第1四半期連結会計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「賃貸不動産費用」は422千円であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	81,493	228,784
受取手形及び売掛金	367,116	352,990
有価証券	60,000	60,000
商品	3,729	3,494
仕掛品	444	—
原材料及び貯蔵品	12,190	10,282
その他	78,623	60,305
貸倒引当金	△4,862	△4,528
流動資産合計	598,735	711,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	121,352	117,624
減価償却累計額	△47,050	△44,539
建物及び構築物 (純額)	74,302	73,084
工具、器具及び備品	128,255	124,771
減価償却累計額	△85,813	△81,974
工具、器具及び備品 (純額)	42,441	42,797
土地	122,842	122,842
その他	8,182	8,160
減価償却累計額	△6,998	△6,816
その他 (純額)	1,184	1,344
有形固定資産合計	240,769	240,068
無形固定資産		
その他	60,053	66,513
無形固定資産合計	60,053	66,513
投資その他の資産		
差入保証金	155,055	159,496
その他	145,790	152,405
貸倒引当金	△14,831	△14,157
投資その他の資産合計	286,014	297,744
固定資産合計	586,838	604,326
資産合計	1,185,573	1,315,656

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	74,239	64,542
短期借入金	172,241	230,000
未払法人税等	2,013	4,201
賞与引当金	24,462	—
株主優待引当金	3,335	3,500
その他	316,914	340,459
流動負債合計	593,207	642,704
固定負債		
社債	95,000	115,000
長期借入金	33,575	51,940
退職給付引当金	10,503	9,762
その他	9,155	12,639
固定負債合計	148,233	189,341
負債合計	741,441	832,045
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	209,610	209,340
資本剰余金	129,610	129,340
利益剰余金	82,047	125,100
株主資本合計	421,267	463,780
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△6,828	△7,100
評価・換算差額等合計	△6,828	△7,100
少数株主持分	29,693	26,930
純資産合計	444,132	483,610
負債純資産合計	1,185,573	1,315,656

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	882,323	902,511
売上原価	700,354	720,111
売上総利益	181,969	182,400
販売費及び一般管理費	204,498	208,804
営業損失(△)	△22,529	△26,404
営業外収益		
受取利息	567	432
受取地代家賃	1,856	2,759
助成金収入	1,440	1,380
その他	573	2,053
営業外収益合計	4,436	6,625
営業外費用		
支払利息	1,604	1,504
不動産賃貸費用	—	1,280
その他	1,636	272
営業外費用合計	3,241	3,057
経常損失(△)	△21,333	△22,836
特別損失		
支社閉鎖損失	1,258	—
過年度損益修正損	—	15,558
その他	284	352
特別損失合計	1,543	15,911
税金等調整前四半期純損失(△)	△22,876	△38,747
法人税、住民税及び事業税	928	715
法人税等調整額	5,045	△7,387
法人税等合計	5,974	△6,671
少数株主利益	2,248	2,490
四半期純損失(△)	△31,098	△34,566

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△22,876	△38,747
減価償却費	16,899	13,972
のれん償却額	878	—
長期前払費用償却額	250	1,021
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△377	1,003
賞与引当金の増減額 (△は減少)	16,696	24,466
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,281	740
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	△164
受取利息	△567	△432
受取賃貸料	△1,856	△2,759
助成金収入	△1,440	△1,380
支払利息	1,604	1,504
不動産賃貸費用	—	1,280
支社閉鎖損失	1,258	—
売上債権の増減額 (△は増加)	29,231	△13,847
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,333	△2,586
その他の資産の増減額 (△は増加)	△15,124	△42
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,799	△457
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,763	9,553
その他の負債の増減額 (△は減少)	△14,644	5,010
その他	880	222
小計	15,394	△1,643
利息の受取額	1,112	730
賃貸料の受取額	1,856	1,859
助成金の受取額	1,440	1,380
利息の支払額	△2,117	△1,583
支社閉鎖による支出	△1,258	—
法人税等の支払額	△29,689	△1,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,262	△645
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付けによる支出	△500	△220
貸付金の回収による収入	1,911	1,298
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,433	△7,247
差入保証金の差入による支出	△1,096	△4,506
差入保証金の回収による収入	637	1,943
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,480	△8,733
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	372,241
短期借入金の返済による支出	—	△430,000
長期借入金の返済による支出	△18,365	△18,920
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
株式の発行による収入	120	540
配当金の支払額	△8,392	△8,487
その他	△4,082	△3,663
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,719	△138,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,551	378

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△93,911	△147,290
現金及び現金同等物の期首残高	275,682	228,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	181,771	81,493

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	生花祭壇 事業 (千円)	生花卸売 事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	721,375	135,005	25,942	882,323	—	882,323
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	208,197	9,998	218,195	(218,195)	—
計	721,375	343,202	35,941	1,100,519	(218,195)	882,323
営業利益又は営業損失 (△)	110,415	1,043	△11,759	99,699	(122,228)	△22,529

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	生花祭壇 事業 (千円)	生花卸売 事業 (千円)	その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	703,386	161,234	37,890	902,511	—	902,511
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	202,292	8,241	210,533	(210,533)	—
計	703,386	363,526	46,131	1,113,044	(210,533)	902,511
営業利益又は営業損失 (△)	85,797	19,898	△9,157	96,538	(122,943)	△26,404

(注) 1. 事業区分の方法

事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) 生花祭壇事業……生花祭壇、供花
- (2) 生花卸売事業……菊、胡蝶蘭などの生花
- (3) その他 ……ブライダル、ギフトなどの祝事に関する生花、園芸装飾等の緑化事業商品

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	861,930	20,393	882,323	—	882,323
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	18,920	18,920	(18,920)	—
計	861,930	39,313	901,244	(18,920)	882,323
営業利益又は営業損失 (△)	95,818	2,685	98,503	(121,032)	△22,529

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	867,337	35,173	902,511	—	902,511
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	21,153	21,153	(21,153)	—
計	867,337	56,327	923,665	(21,153)	902,511
営業利益又は営業損失 (△)	81,850	14,101	95,952	(122,357)	△26,404

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域

アジア…… 台湾

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。